

高知県東部広域地域公共交通協議会 第1 回総会 議事録 (要旨)

(日 時) 平成30 年6 月8 日 (金) 10:40から12:00

(場 所) 安芸市役所第1・第2 会議室

(次 第)

- 1 開 会
- 2 高知県東部広域地域公共交通協議会について (資料1)
- 3 報 告
 - (1) 計画策定支援業務の委託先の決定について
 - (2) 国補助金の交付決定について
 - (3) 予算の流用について (資料2)
- 4 議 事
高知県東部広域地域公共交通網形成計画策定について (資料3)
- 5 閉 会

(内 容)

1 開 会

2 高知県東部広域地域公共交通協議会について

事務局：資料1-1 に沿って説明。

質問、意見なし。

3 報 告

(1) 計画策定支援業務の委託先の決定について

事務局：計画策定支援業務の委託先決定の報告

(2) 国補助金の交付決定について

事務局：交通網計画策定における国補助金交付決定の報告

(3) 予算の流用について

事務局：予算の流用について報告

(1) (2) (3) について質問、意見なし。

4 議事

高知県東部広域地域公共交通網形成計画策定について

・計画策定に向けた実施方針、地域概況等の現状整理について

事 務 局：委託事業者から資料3-1・P7 までに沿って説明。

副会長：今回の広域での協議会には、県から声がけをし、設立させていただいた。また、今回11の市町村という広いエリアを対象に、しかも鉄道とバスが幹線であるという取り組みも評価をもらい、国土交通省からも、ほぼ満額に近い形での補助金をいただいていると理解している。申し上げるまでもなく、公共交通はあくまでも手段で、目的があって初めて利用されるもの。そういう観点で、今回の協議会については、自治体の委員として、大変お忙しい中、副市町村長の皆様に出席いただいている。公共交通のあり方は、鉄道担当課、バス担当課だけでなく、観光もそうですし、医療・福祉であるとか、教育、産業振興、幅広い分野に大きな影響が、やはり便利になっていくとそういうところにいい波及効果が出てくるということが、他の地域でも実証されていることから、皆様にお越しいただいている。

この地域は少子化であるとか、自動車専用道の延伸等、公共交通にとって脅威といったところもある反面、エリア内には空港もあり、魅力的な観光資源もある。また、鉄道においては、JR 四国の土讃線との直通運転をしているという強みもある。脅威だけにとらわれるのではなく、地域の持つ資源、利便性をさらに高めて、まずは便利で使い勝手の良い公共交通を実現するという視点、これは単独の市町村での交通会議での議論ではなかなかやりづらいところである。

ややもすると思惑が違ったりするところもあるが、広域になってくるとそういうところがやりやすくなると思う。例えば、空港からごめん・なはり線あるいは高知東部交通のバスで接続するような新たな手段を作ることで、利便性も高まるし、事業者の利益も高まるということも検討できるのではないかと考えている。目指すべき姿は「三方良し」であると考えている。住民の皆さんは地域の鉄道、バス、あるいは鉄道とバスに接続するためのフィーダー的な、いわゆるコミュニティバスのものと、便利になることによって移動が便利になる。また事業者は、便利になることによってお客様が増えて、収支が改善していく。また行政にとっては、住民の方の満足度が高まるし、事業者の収支が改善していけば、公共交通への負担も軽減する、あるいは軽減はしないまでも増加のカーブがなだらかになっていくということも期待できるかと思うので、そういう観点からも積極的な検討が大事だと思う。県のほうも気づいたところについては積極的に提案もしていきたいので、よろしくお願ひします。

会長：委員の皆さんには、随時ご提案をしていただきたい。意見等については、事務局の安芸市企画調整課または県交通運輸政策課まで連絡いただければ。

・公共交通の利用実態やニーズ等の把握について

事務局：委託事業者から資料3-1・P8~10 に沿って説明。

副会長：アンケート調査で、高校生は地域内での通学もあると思うが、高知市の学校に通っている生徒も相当数いると考えている。そのあたりのお考えはどうかという点と、あとこれは事業者に聞いたほうがいいのかもかもしれないが、今回、乗降調査をされるが、既存の資料で提供いただけるものがあるのではないと思うが、そのあたりはどうか。

委託事業者：まず、高校生のアンケート調査については、現在、東部広域地域内の全高校を対象としているが、高知市や徳島の方に向かっている高校生もいるので、そういった方も調査対象として実施したいと思っている。

副会長：具体的には学校にお願いしてということか。

委託事業者：高知東部の自治体か県のほうに確認ということになるが、実際に東部広域地域内から向かっている学校があれば、その学校は対象とする。高知市内の高校であって、この高校に向かっているということがわかれば、その高校は全生徒同じような形でアンケートを実施のうえ、今回の対象となるエリアの生徒のみ集計をし、分析を行うということも可能。

副会長：具体的なところは、事務局と委託事業者で調整させていただきたい。あとこれも調整事項ではあるが、今、下宿通いをしている生徒も相当数いる中で、本人か親御さんなのか分からないが、例えばどういう環境を整えば、それはダイヤなのか運賃なのか分からないが、そういう観点もぜひ合わせてもらえればと思う。あと、先日、小豆島に視察に行ったところ、そこは住民アンケートの中で、鉄道はないところだが、バスの定期代がいくらであればバスで通うかを伺ったところ、圧倒的に5,000円までという答えが多かったそうで、小豆島の2つ自治体が連携して、バスの定期代が5,000円を超える部分については、同じルールで補助金を出して、実質ご家庭の負担は最高でも5,000円ということを実施し、小豆島の中で200人の高校生がバスで通学している、特に朝とか夕方は1台のバスでは乗り切れなくて2台運行、ということも聞いているので、そういう観点のアンケートもお願いしたいと思っている。あと乗降調査、これ非常に有効だと思うが、単に年間何万人とかいうだけでは分かりづらい部分も取ってほしいし、事業者がお持ちのデータも活用して、いい議論のベースになるデータを収集していただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

会長：先程、提案があった、東部広域地域以外の高校へも調査を広げる、提案いただいた項目も調査を広げるということで、実施していきたいと思う。

委員：このニーズ等の把握ということでの聞き取り調査のやり方で、事業者的にタクシー等の事業者さんとかハイヤー事業者さんがない。あと、若干ではあるが阿佐海岸鉄道もあり、そことバスのつながりとかもあると思うが、外からお越しになる観光客がどういう動きをしているとか、観光施設に行くなど、観光客の動向も調べられたらと思うが、お考えはあるか。

委託事業者：今回、住民の方々、あとは乗降調査を実施していく中で、実際タクシーを利用している方が多いとか、主要な観光地ではこういったところに向かっているとか、そういった情報を得ることができるので、臨機応変に、そういった方々の意見を伺いに行くとか、そういった対応で実施していきたいと考えている。

副会長：私案だが、例えば主要な観光地で、個別に話をして、協力いただけるようであれば、具体的方法は、また今後調整になるが、観光地を訪れた方にアンケートを実施するなどということも、検討していきたいと思う。

・「あき総合病院前駅」の設置検討について

事務局：委託事業者から資料3-1・P11 に沿って説明。

委員：最近、第三セクターは大変厳しい状況にあり、赤字経営が続いているが、その中で収支改善につながったものとして、例えば利便性の向上、増発・増便というようなことで利用を増やす、またやはり定期収入というのは大事なので、例えば年間定期というような新たな定期を作ったことによる効果があったとか、もう一つ、新駅を作ったというのが出ていた。投資で結構なお金がかかるわけなので、少なくともその経費以上の収入が入ることが必要だと思うし、そういった意味で、新駅は前向きな形での運輸収入源として、わが社としても期待をしているので、今後実際に作ったものの利用者が少ないということでは駄目かと思うので、しっかり我々も協力しますので、調査をしていただいて、費用便益等も出していただければと思うので、よろしくお願いします。

・網形成計画（案）の作成、および今後のスケジュールについて

事務局：委託事業者から資料3-1・P12～14 に沿って説明。

質問、意見なし。

会長：本件について、ここで諮りたい。

高知県東部広域地域公共交通網形成計画の策定について、特にアンケートの実施方法や項目の決め方、スケジュール等、先の説明内容をもとに、本日協議した内容・意見等を反映する形で進めていくことで、よろしいか。また、アンケートの具体的な内容については、後日事務局から案を送り、意見をいただく形としたいと思うが、そのような形でよろしいか。

意見がないので、本日の議事について、承認することとする。

5 閉会

・そのほか協議会全般について、意見・質問等

委員：昨年10月から高知・安芸線を運行し、ほぼ東のほうで路線バスを運行している。ごめん・なはり線との接続も含め、運行ダイヤを企画しているが、やはり現状を維持することが難しい状態である。また、全国的に問題になっている運転手不足ということも含め、また長時間労働ということも、会社的にはかなり苦しい状況にきている。今回の協議会の中で、みなさんの意見を反映しながら、東の地域を盛り上げていけるような交通体系を作っていきたいので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

会長：今後委員のみなさんには、また意見・提案等を積極的にお願いしたい。